



ソフト名	ListViewe
バージョン	1.0.0
動作 OS	WindowsXP/Vista/7
ソフトの種別	フリーソフト
著作権	UnderMT

【ListViewer 概略】

画像ファイルのタイトルや説明文を付けてフォルダ分けし、フォルダ分けした画像ファイルをリスト表示して、リストを選択する事で画像と説明文を表示させて観覧するツールソフトです。

作成するフォルダはメインフォルダ内にサブフォルダを入れ、2階層にフォルダ分けしますので、例えばメインフォルダに人や物や場所名などを設定しサブフォルダに撮影した年などを設定して写真の整理等を行う事を目的として制作しております。

その他にもメインフォルダ・サブフォルダの設定次第で色々な画像管理が可能だと思います。

【動作環境】

- ・この「ListViewer」はVisualBasic 2010にて作成しています。
- ・起動には.NET Framework 4 がインストールされている必要があります。
- ・上記のランタイムはマイクロソフトから無償でダウンロード可能です。
- ・このソフトの起動については、下記の環境にて確認しています。

WindowsXP/Vista/7

【注意事項】

- ・この「ListViewer」の著作権は作者である UnderMT が所有しています。
- ・ソフト使用にあたっては自己責任で使用願います。
- ・作成後に検証は行ないましたが、全てのバグを排除できたかどうかは保証できません。
- ・「ListViewer」使用における如何なる損害が生じましても責任は負いかねます。

【ListViewer 使用方法】

ListViewer はインストール不要です。

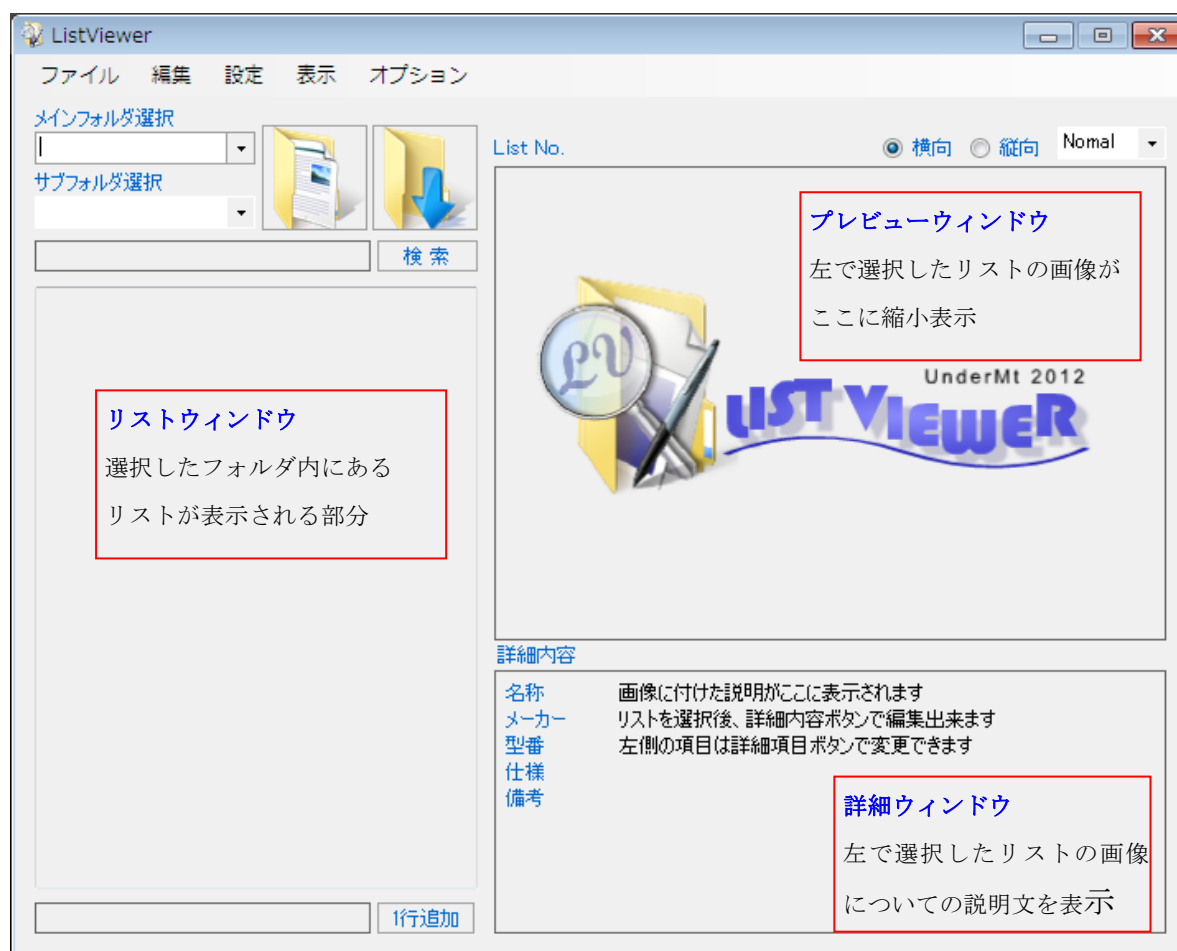
ソフトで登録した画像やテキストファイルは全て[ListViewer.exe]が入っているフォルダと同じ場所に保存されていきます。他の場所へはアクセスしておりませんので、フォルダごと移動やバックアップする事が出来ます。

※大容量の USB メモリ等の中に入れて起動すれば、フォルダ整理とバックアップが行えます。

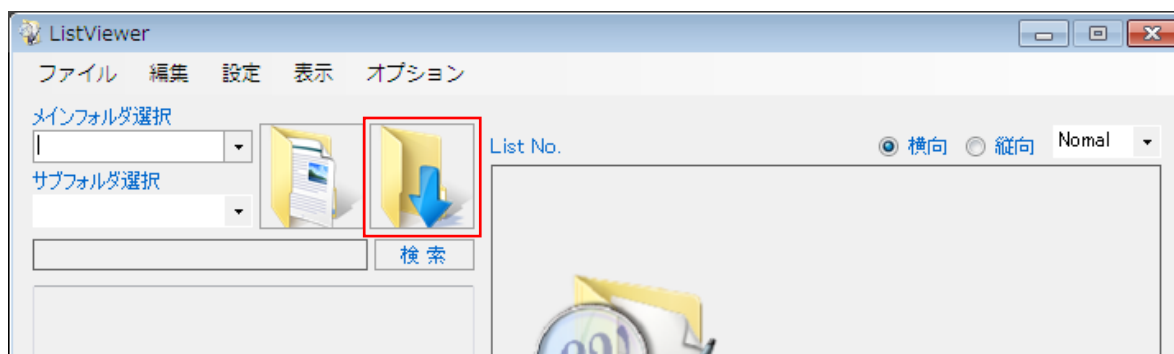
lv_1.0 フォルダ内の ListViewer.exe をダブルクリックしプログラムを実行して起動します。
エラーが表示され起動しない場合はランタイムがインストールされていない可能性がありますので .NET Framework 4 ランタイムをマイクロソフトよりダウンロードしてインストールしてみてください。

ListViewer メイン画面

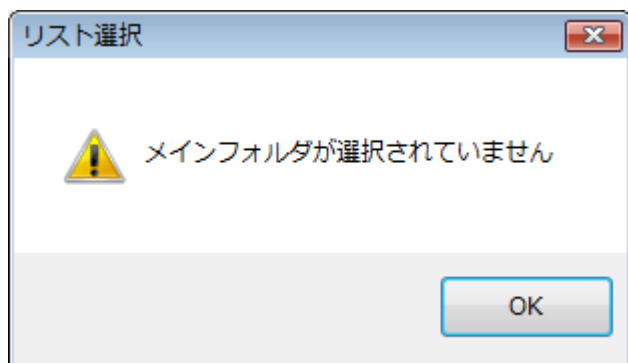
(開発中画面の為、実際の画面とは異なる場合があります。ご了承下さい)



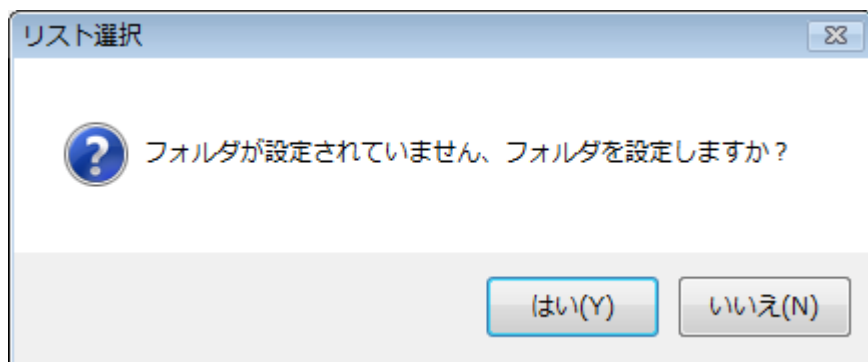
ソフトが起動しましたら、リスト追加（下図の赤枠部）をクリックしてみてください。



まだフォルダが設定されていないので下記のメッセージが表示されます。OK で閉じます。

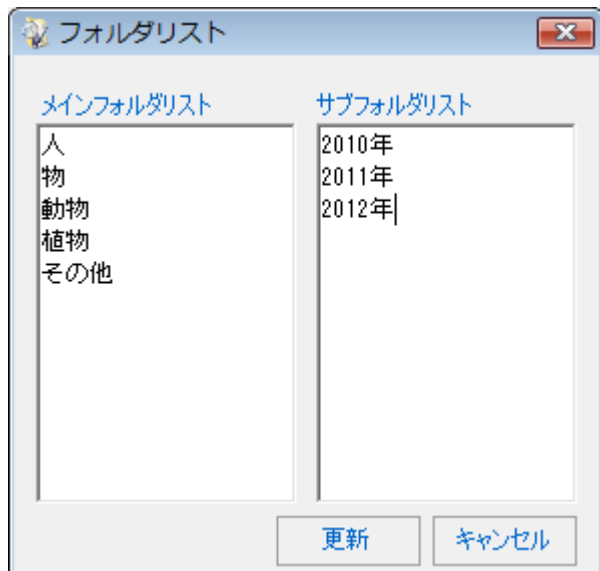


フォルダ設定を行うか問いかけてきますので「はい」を押して下さい。

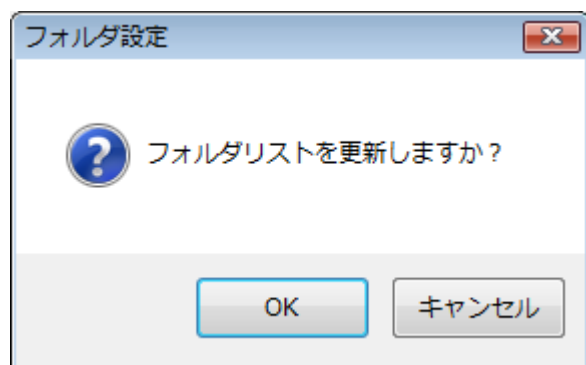


フォルダリストの設定画面が開きます。例として、メインフォルダに「人」「動物」「植物」「物」「その他」という大分類にして

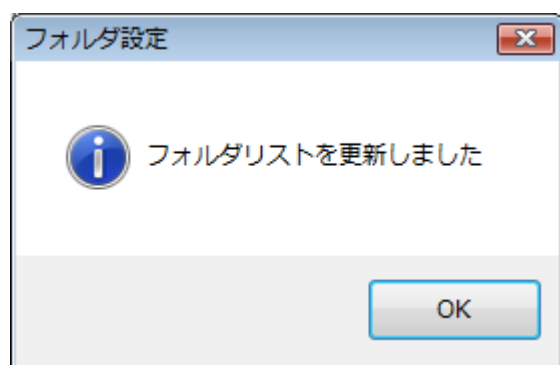
サブフォルダの小分類に撮影した年で分類する事として説明していきます。



OK を押して適用します。



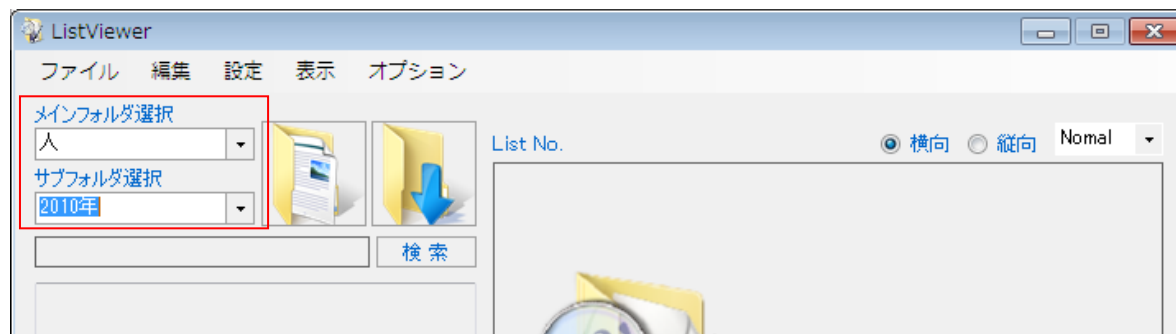
確認のメッセージが出ます。OK を押して閉じます。



先ほど入力した項目がメインフォルダ及びサブフォルダ項目に反映されています。

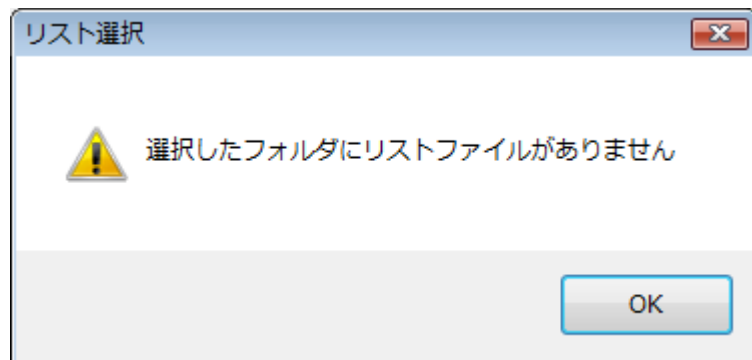
例として 2010 年に撮影した人物の画像をリストとして追加するとして説明を進めます。

メインフォルダ項目：人 サブフォルダ項目：2010 年を選択して下さい。

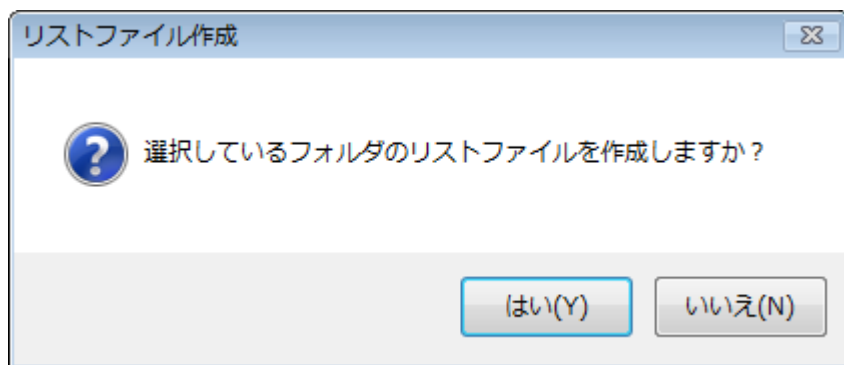


フォルダを選択したら、リスト項目追加をクリックします。

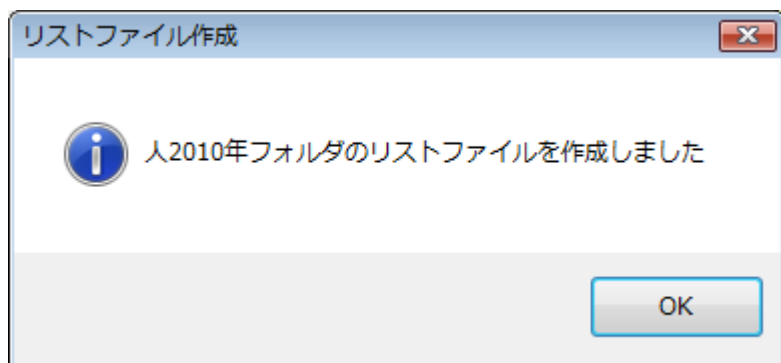
リストが作成されていないフォルダを選択した場合は下記のメッセージが表示されます。



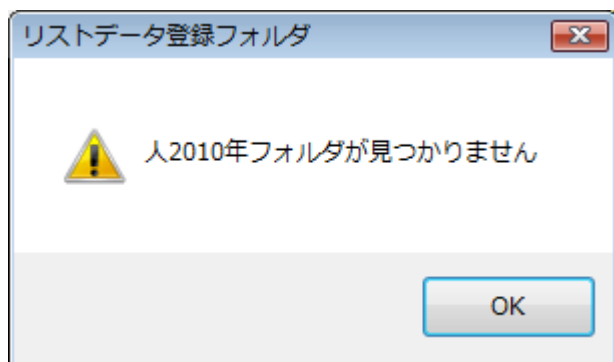
「はい」を選択してリストファイルを作成します。



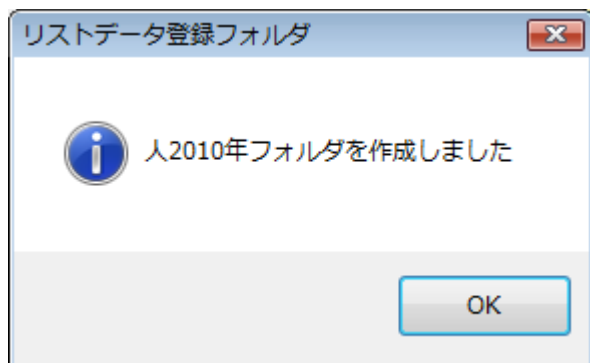
選択中のフォルダのリストファイルが作成されました。OK を押して下さい。



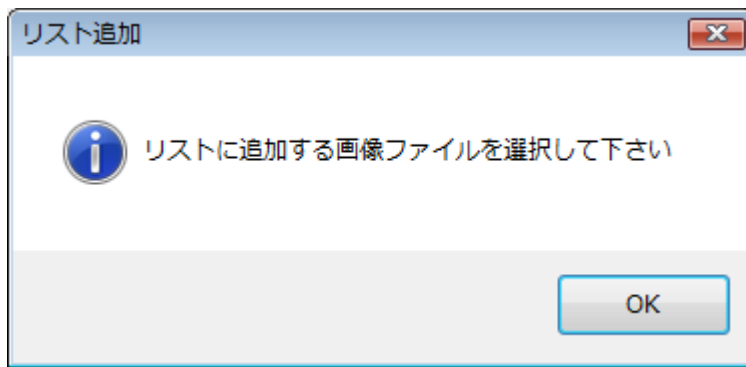
新規に作成したフォルダにリストを追加する場合は画像ファイルを保存するフォルダがありませんので下記のメッセージが表示されます。



データを保存するフォルダが作成されました。OK を押して閉じて下さい。

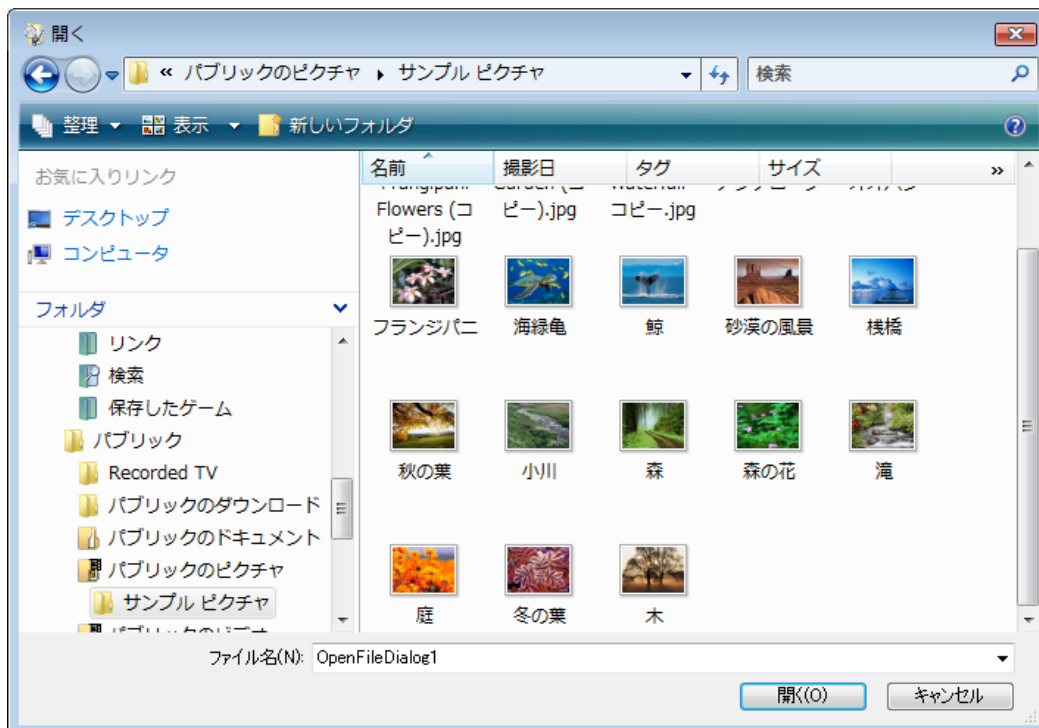


OK を押して「人-2010 年」フォルダへ追加する画像を追加して下さい。



ダイアログが開きますので、リストとして追加したい画像を選択し「開く」をクリックします。

この時の選択した画像のファイル名がリストの項目として登録されますので変更する場合は先に画像を右クリックしてファイル名の変更を行ってから開いて下さい。

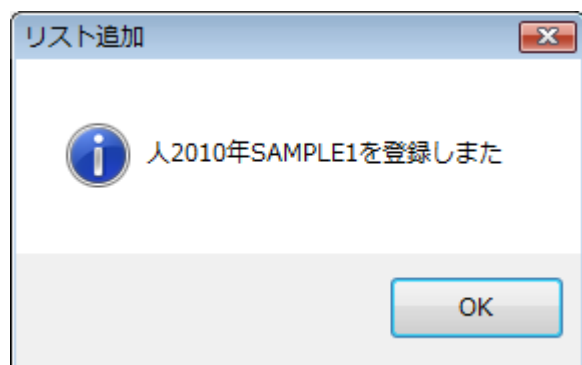


画像を選択し開くをクリックすると確認メッセージが表示されます。

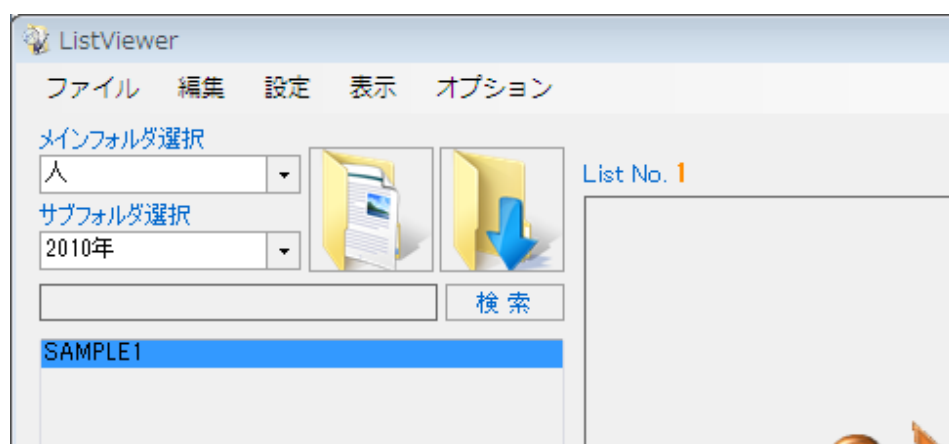
「はい」をクリックするとリストとして登録されます。



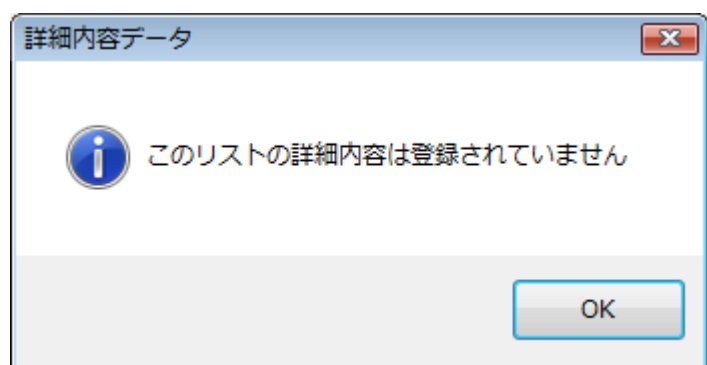
画像ファイルが登録（保存）されました。OK をクリックして閉じて下さい。



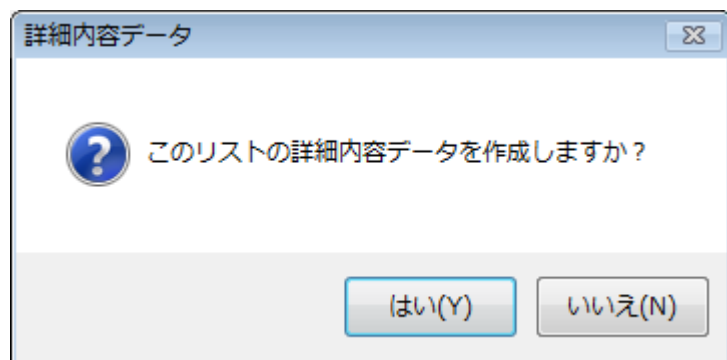
リストウィンドウに登録したファイル名とプレビューウィンドウに画像が表示されます。
リストウィンドウのファイル名をクリックして下さい。



登録したリストの画像にはまだ詳細内容説明を作成していませんので
下記の様なメッセージがでます。OK を押して下さい。



画像についての詳細内容データを作成するか聞いてきます。「はい」をクリックして下さい。



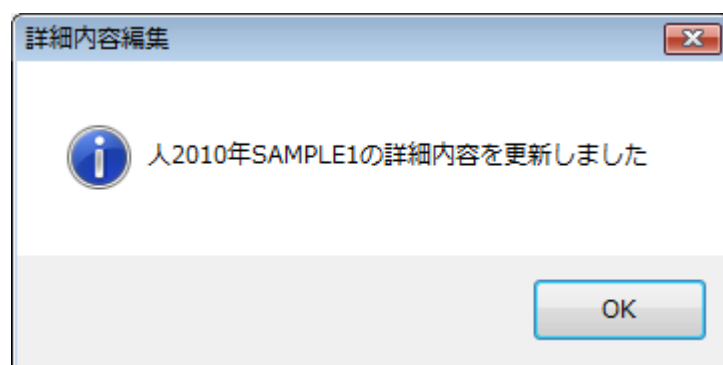
詳細内容編集画面が出ます。ここに先ほど登録した画像についての説明文を入力し更新ボタンをクリックします。(空白のままでも後で編集出来ます)



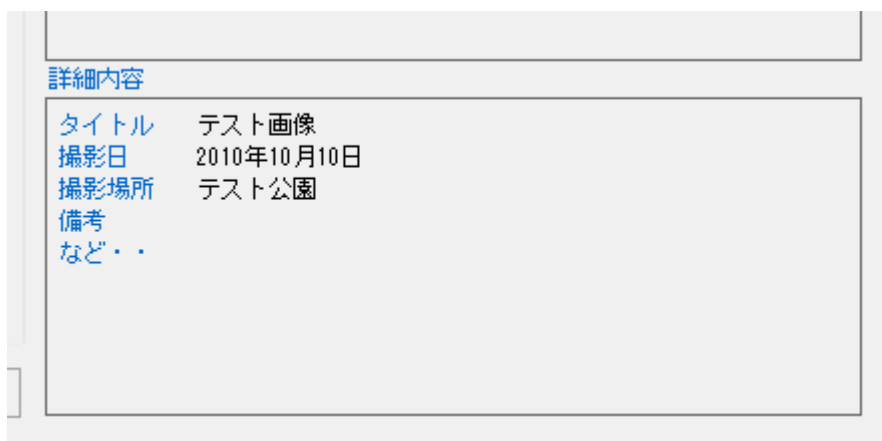
確認メッセージが出ますので OK をクリックして適用します。



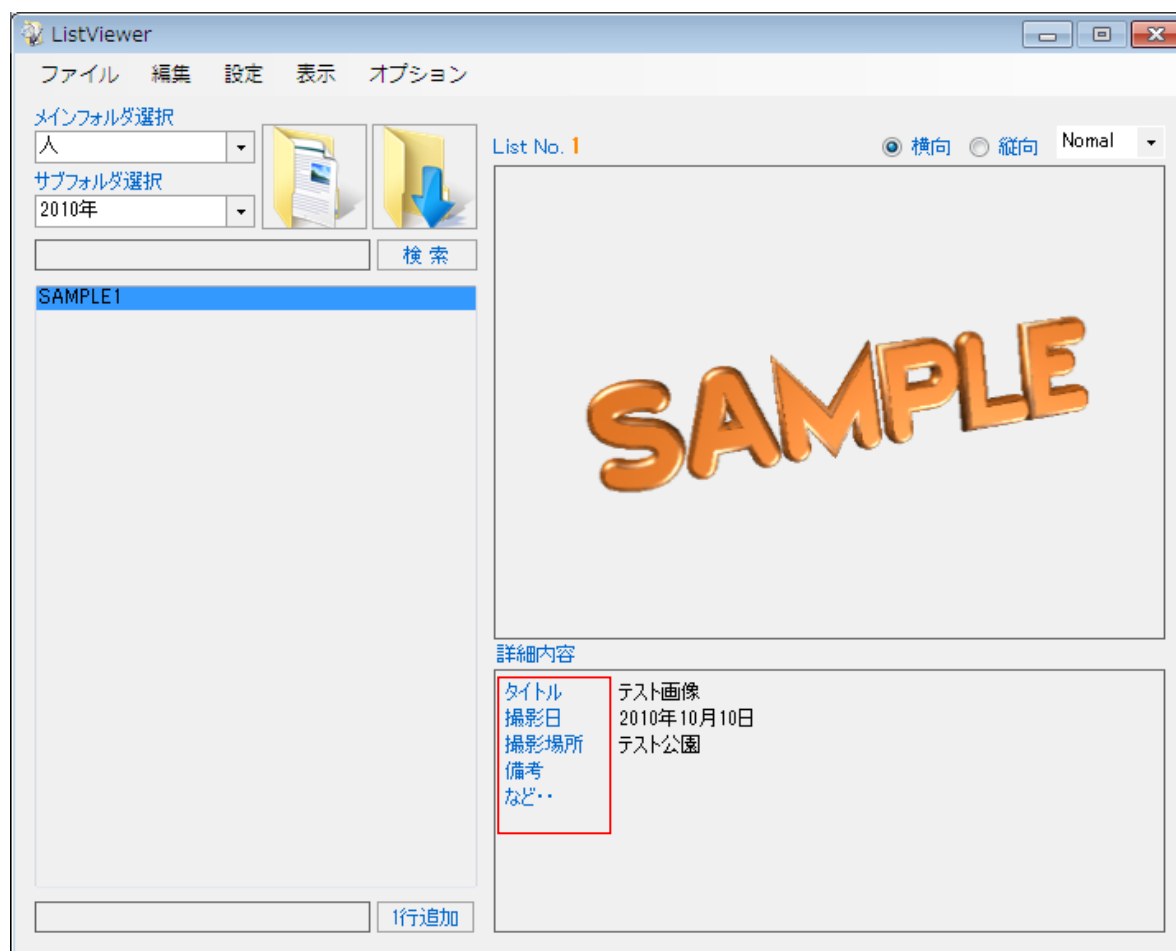
OK をクリックして閉じて下さい。



画面右下の詳細内容欄に反映されています。



これでフォルダを選択後、リスト表示を押して出てきたリスト項目をクリックすると、画面右側にその選択したリストの画像と詳細テキストが表示されるようになりました。



詳細内容欄の左側の赤枠内の項目は任意の文字に変更可能です。

画面上にある設定の詳細項目をクリックして編集画面出して変更して下さい。